

### 1 計画収集区域内人口

本圏域は、和泊町及び知名町の全域を計画処理区域及び収集対象区域としているため、計画収集区域内人口は各町の行政区域内人口となります。

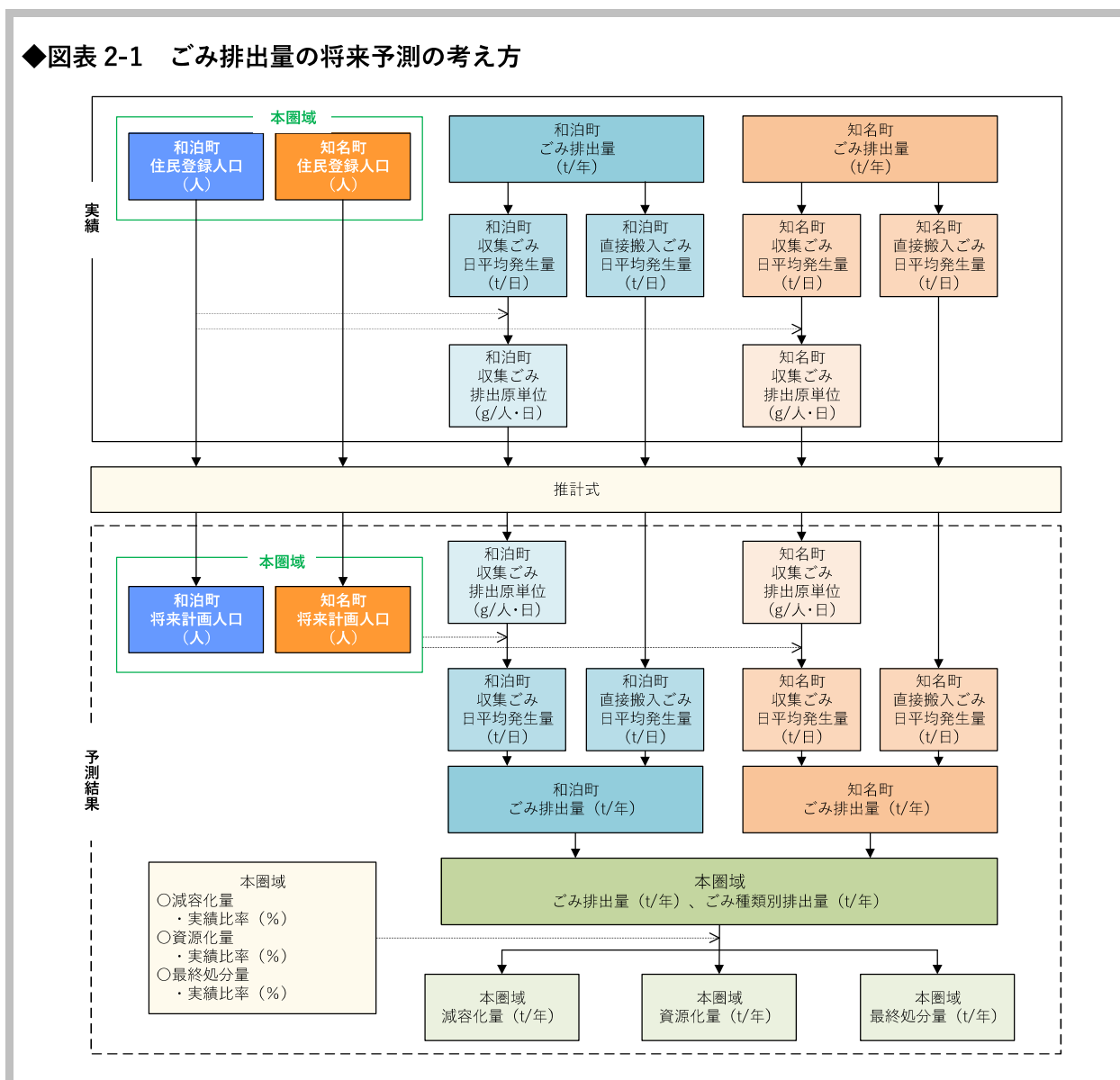
### 2 設定方法

本圏域のごみ排出量は「一般廃棄物処理基本計画策定指針」に基づき、将来推計を行いました。ごみ排出量の将来推計方法は人口推計と同様に、「ごみ処理施設構造指針解説」にて示されている推計式を用いました。

本圏域のごみ排出量の将来予測の考え方は図表 2-1 に示すように、収集ごみは将来のごみ排出原単位を、直接搬入ごみは将来の日平均発生量をそれぞれ推計式から求めます。

次に、収集ごみは和泊町及び知名町それぞれのごみ排出原単位とそれぞれの行政区域内人口を掛け合わせて各町の将来の日平均排出量を算出し、収集ごみ及び直接搬入ごみの年間のごみ排出量の合計値を本圏域の将来のごみ排出量とします。

◆図表 2-1 ごみ排出量の将来予測の考え方



### 【収集ごみ】

燃えるごみの1人1日平均排出量 (g/人・日)

燃えないごみ・空き缶・その他の1人1日平均排出量 (g/人・日)

空きビンの1人1日平均排出量 (g/人・日) ※1

ペットボトル・発泡スチロールの1人1日平均排出量 (g/人・日) ※1

### 【直接搬入ごみ】

燃えるごみ (t/年)

燃えないごみ・空き缶・その他 (t/年)

粗大ごみ (t/年)

ペットボトル・発泡スチロール (t/年) ※1

ダンボール (t/年) ※1

※1：資源ごみ

上記のごみ発生量を発生原単位として過去10年間（平成24年度～令和3年度）の実績を基に推計を行いました。

推計にあたっては、以下の事項に留意して行います。

- ・ 発生原単位の推計は、5つの推計式（図表1-1）を用いて各町のごみの種類ごとに行います。
- ・ 推計式の採用にあたっては、過去の実績の推移を反映し、今後の見通しとしてふさわしい傾向を示している式とします。
- ・ 収集ごみについては、採用した推計値 (g/人・日) に計画収集人口 (人) を乗じて、計画年間平均日発生量 (t/日) とします。
- ・ 直接搬入ごみ量については、採用した推計値 (t/年) を365日で除して、計画直接年間平均日発生量 (t/日) とします。

以上より、算出した各町それぞれの計画年間日平均発生量の合計値を本圏域における計画年間日平均発生量とします。

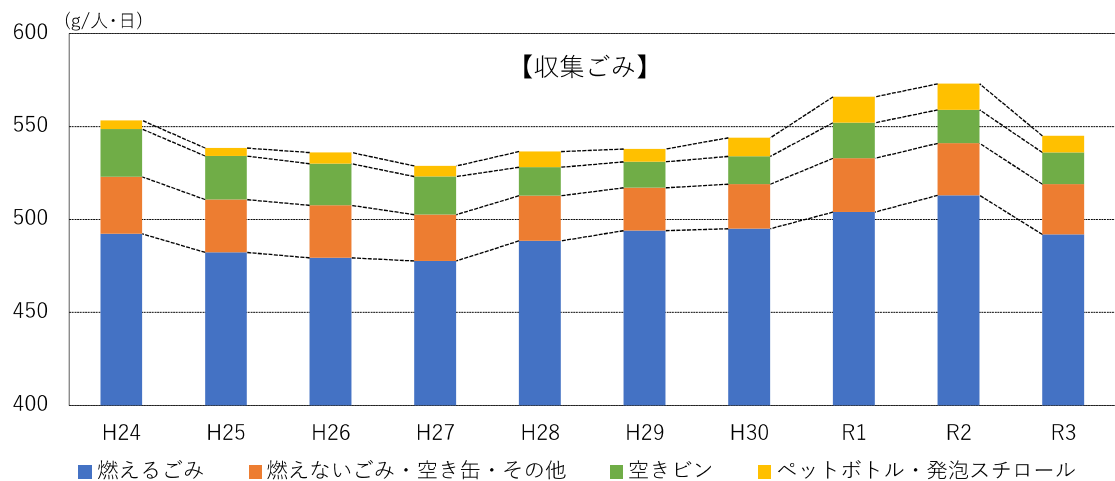
次頁に過去10年間の本圏域における発生原単位の推移を示します。

※推計を行う際、端数処理を詳細に行ったため、H29～R3の実績値が第3章と相違する箇所があります。

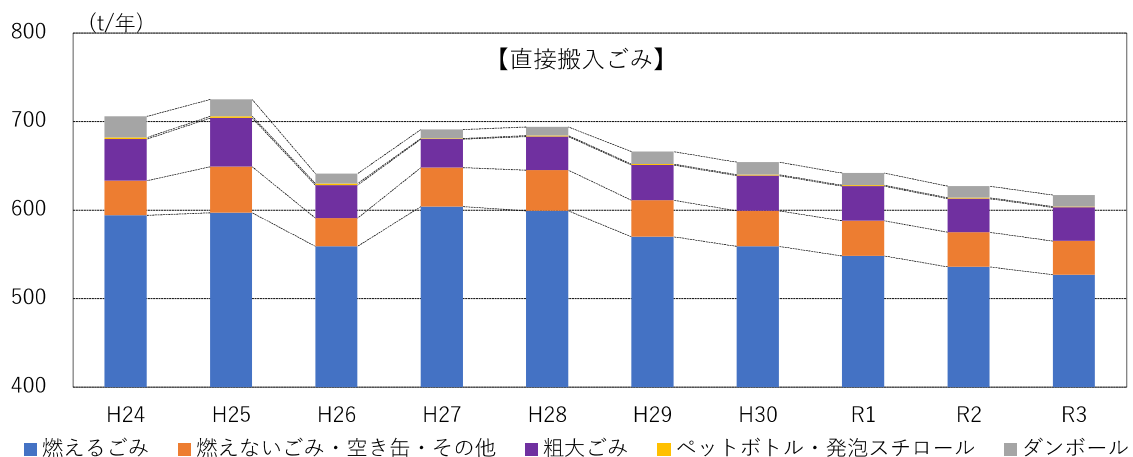
◆図表 2-2 ごみ発生原単位の実績（和泊町）

区分		単位	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	平均
収集 ごみ	燃えるごみ	t/年	1,265	1,228	1,209	1,203	1,203	1,187	1,178	1,179	1,181	1,117	1,195
		g/人・日	492	482	479	478	488	494	495	504	513	492	492
	燃えないごみ・ 空き缶・その他	t/年	79	72	71	63	60	56	58	70	66	62	66
		g/人・日	31	28	28	25	24	23	24	29	28	27	27
	空きビン	t/年	66	60	56	52	38	36	36	46	43	40	47
		g/人・日	26	23	22	21	15	14	15	19	18	17	19
ペットボトル・ 発泡スチロール	t/年	12	11	15	14	21	19	25	35	33	22	21	
	g/人・日	5	4	6	6	8	7	10	14	14	9	8	
計	t/年	1,422	1,371	1,351	1,332	1,322	1,298	1,298	1,329	1,323	1,241	1,329	
	g/人・日	553	538	536	529	537	539	543	566	573	546	546	
直接 搬入 ごみ	燃えるごみ	t/年	594	597	559	604	599	570	559	548	536	527	569
	燃えないごみ・ 空き缶・その他	t/年	39	52	32	44	46	41	40	40	39	38	41
	粗大ごみ	t/年	47	55	37	32	38	40	40	39	38	38	40
	ペットボトル・ 発泡スチロール	t/年	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
	ダンボール	t/年	24	19	11	10	10	14	14	14	13	13	14
	計	t/年	706	725	641	691	694	666	654	642	627	617	666

◆図表 2-3 収集ごみの発生原単位の推移（和泊町）



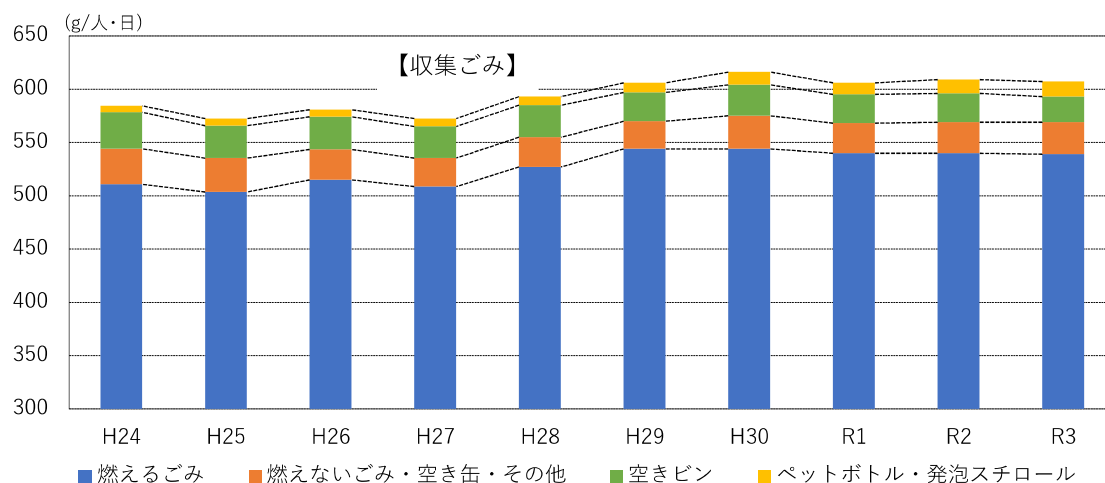
◆図表 2-4 直接搬入ごみ発生原単位の推移（和泊町）



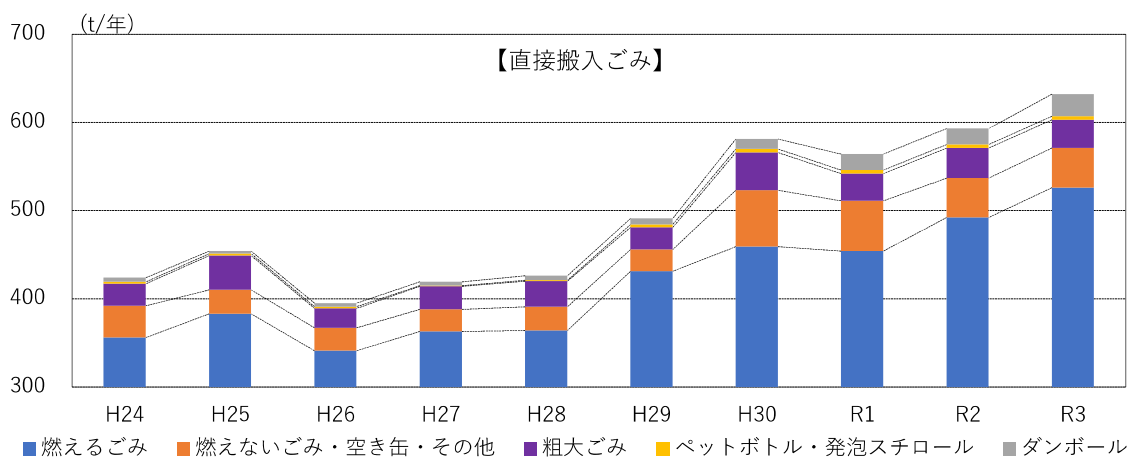
◆図表 2-5 ごみ発生原単位の実績（知名町）

区分		単位	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	平均
収集 ごみ	燃えるごみ	t/年	1,216	1,197	1,211	1,178	1,196	1,188	1,175	1,145	1,124	1,104	1,173
		g/人・日	511	504	515	509	527	544	544	540	540	539	527
	燃えないごみ・ 空き缶・その他	t/年	80	76	67	62	64	57	67	61	62	63	66
		g/人・日	34	32	29	27	28	26	31	28	29	30	29
	空きビン	t/年	81	73	72	68	68	61	63	59	58	51	65
		g/人・日	34	31	31	30	30	27	29	27	27	24	29
	ペットボトル・ 発泡スチロール	t/年	14	16	15	17	18	21	28	25	28	29	21
		g/人・日	6	7	7	7	8	9	12	11	13	14	9
	計	t/年	1,391	1,362	1,365	1,325	1,346	1,326	1,333	1,292	1,272	1,247	1,326
		g/人・日	584	572	581	572	593	605	616	606	608	607	594
直接 搬入 ごみ	燃えるごみ	t/年	356	383	341	363	364	431	459	454	492	526	417
	燃えないごみ・ 空き缶・その他	t/年	36	27	26	25	27	25	64	57	45	45	38
	粗大ごみ	t/年	25	39	22	26	29	25	43	31	34	32	31
	ペットボトル・ 発泡スチロール	t/年	2	2	2	1	1	3	4	4	4	4	3
	ダンボール	t/年	5	3	4	4	5	7	11	18	18	25	10
	計	t/年	424	454	395	419	426	492	582	563	593	632	498

◆図表 2-6 収集ごみの発生原単位の推移（知名町）



◆図表 2-7 直接搬入ごみ発生原単位の推移（知名町）



### 3 各町の各種ごみ排出量の推計結果

#### (1) 和泊町

和泊町における本計画目標年度（令和 9 年度）の収集ごみ排出量の推計結果を以下に示します。

##### ア 収集ごみ

推計の結果、和泊町における本計画目標年度（令和 9 年度）の収集ごみの排出原単位は以下に示すとおりとなります。

【収集ごみ】	
燃えるごみ	510.6 g/人・日
燃えないごみ・空き缶・その他	25.7 g/人・日
空きビン	13.6 g/人・日
ペットボトル・発泡スチロール	9.8 g/人・日

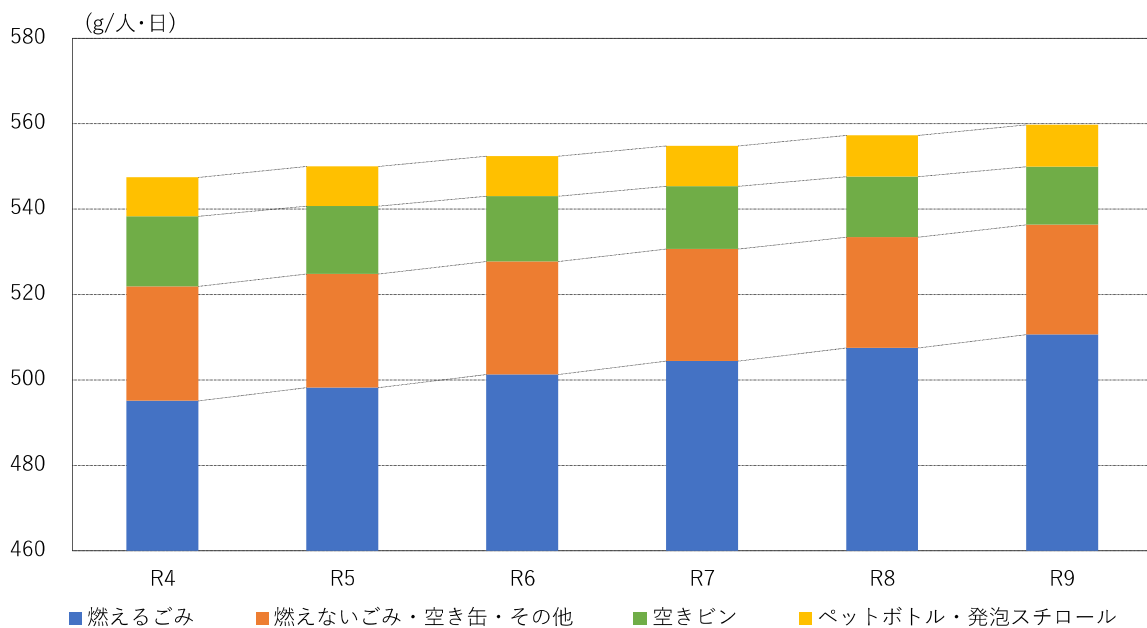
◆図表 2-8 収集ごみの推計結果（和泊町）

単位：g/人・日

本計画		R4	R5	R6	R7	R8	R9
収集 ごみ	燃えるごみ	495.1	498.2	501.3	504.4	507.5	510.6
	燃えないごみ・空き缶・その他	26.8	26.6	26.4	26.2	25.9	25.7
	空きビン	16.4	15.9	15.3	14.7	14.2	13.6
	ペットボトル・発泡スチロール	9.1	9.3	9.4	9.5	9.6	9.8
	計	547.4	550.0	552.4	554.8	557.2	559.7

※端数処理のため合計値が合わない箇所があります。

◆図表 2-9 収集ごみの推計値の推移（和泊町）



## イ 直接搬入ごみ

推計の結果、和泊町における本計画目標年度（令和 9 年度）の直接搬入ごみの排出原単位は以下に示すとおりとなります。

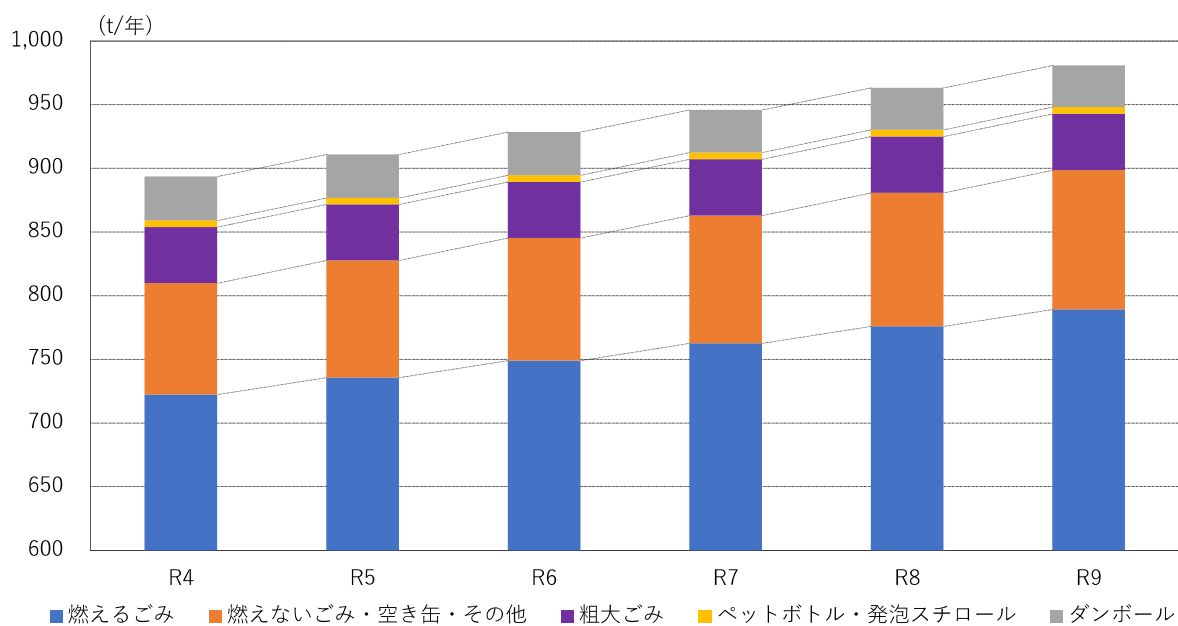
<b>【直接搬入ごみ】</b>	
燃えるごみ：789.1t/年	
燃えないごみ・空き缶・その他：109.3t/年	
粗大ごみ：44.3t/年	
ペットボトル・発泡スチロール：5.4t/年	
ダンボール：32.6t/年	

◆図表 2-10 直接搬入ごみの推計結果（和泊町）

単位：t/年

本計画		R4	R5	R6	R7	R8	R9
直接 搬入 ごみ	燃えるごみ	722.3	735.7	749.0	762.4	775.7	789.1
	燃えないごみ・空き缶・その他	87.4	91.8	96.1	100.5	104.9	109.3
	粗大ごみ	44.1	44.1	44.2	44.2	44.3	44.3
	ペットボトル・発泡スチロール	5.1	5.1	5.2	5.3	5.3	5.4
	ダンボール	34.6	34.2	33.8	33.4	33.0	32.6
	計	893.5	910.9	928.3	945.8	963.2	980.7

◆図表 2-11 直接搬入ごみの推計値の推移（和泊町）



## (2) 知名町

知名町における本計画目標年度（令和 9 年度）の収集ごみ排出量の推計結果を以下に示します。

### ア 収集ごみ

推計の結果、知名町における本計画目標年度（令和 9 年度）の収集ごみの排出原単位は以下に示すとおりとなります。

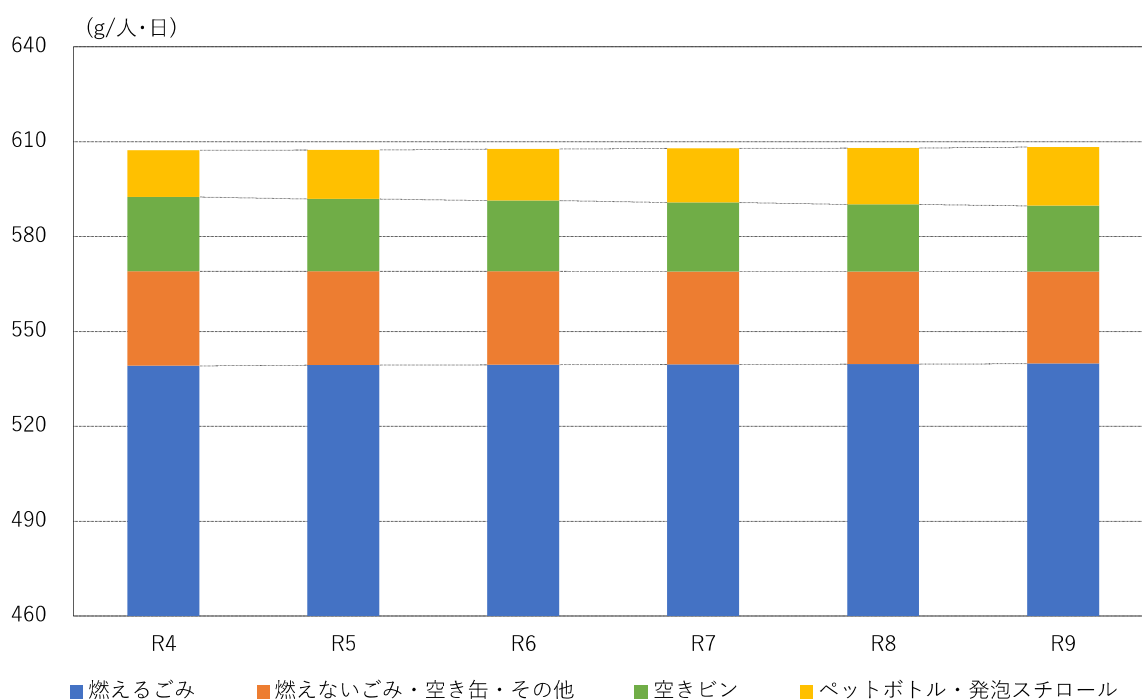
【収集ごみ】	
燃えるごみ	539.8 g/人・日
燃えないごみ・空き缶・その他	29.1 g/人・日
空きビン	20.8 g/人・日
ペットボトル・発泡スチロール	18.6 g/人・日

◆図表 2-12 収集ごみの推計結果（知名町）

単位：g/人・日

本計画		R4	R5	R6	R7	R8	R9
収集 ごみ	燃えるごみ	539.1	539.3	539.4	539.5	539.6	539.8
	燃えないごみ・空き缶・その他	29.9	29.7	29.6	29.4	29.3	29.1
	空きビン	23.5	22.9	22.4	21.9	21.3	20.8
	ペットボトル・発泡スチロール	14.8	15.5	16.3	17.1	17.8	18.6
	計	607.3	607.4	607.7	607.9	608.0	608.3

◆図表 2-13 収集ごみの推計値の推移（知名町）



## イ 直接搬入ごみ

推計の結果、知名町における本計画目標年度（令和 9 年度）の直接搬入ごみの排出原単位は以下に示すとおりとなります。

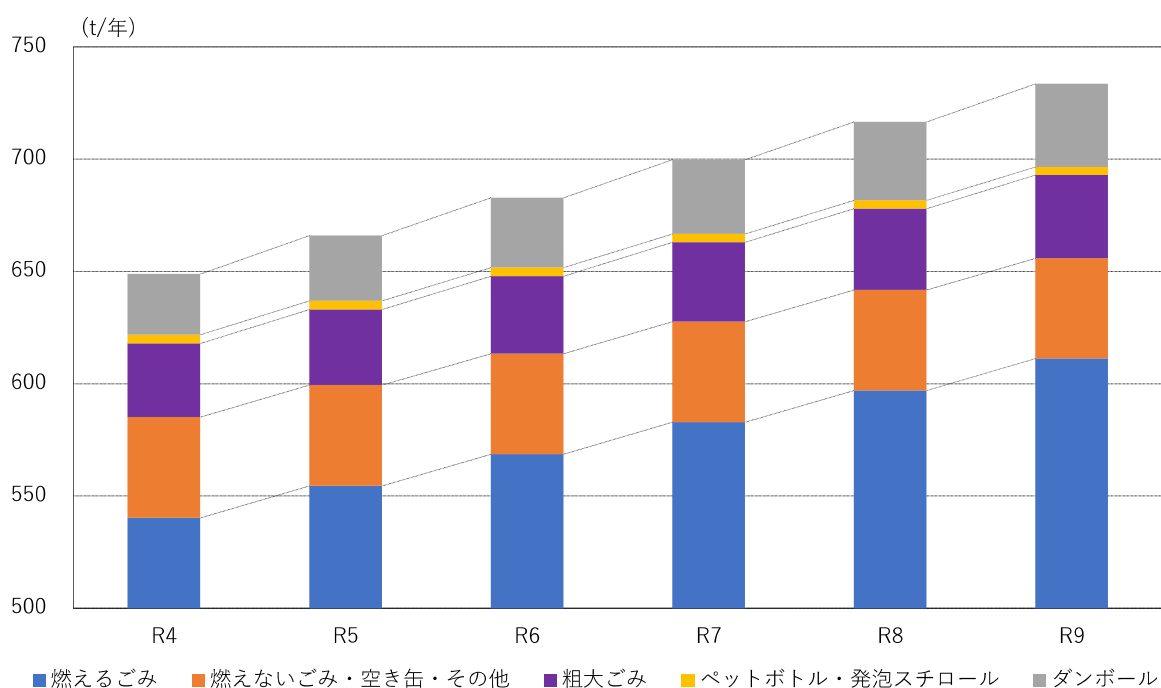
<b>【直接搬入ごみ】</b>	
燃えるごみ：611.2t/年	
燃えないごみ・空き缶・その他：44.6t/年	
粗大ごみ：37.1t/年	
ペットボトル・発泡スチロール：3.6t/年	
ダンボール：37.0t/年	

◆図表 2-14 直接搬入ごみの推計結果（知名町）

単位：t/年

本計画		R4	R5	R6	R7	R8	R9
直接 搬入 ごみ	燃えるごみ	540.2	554.4	568.6	582.8	597.0	611.2
	燃えないごみ・空き缶・その他	44.9	44.9	44.8	44.8	44.7	44.6
	粗大ごみ	32.8	33.7	34.5	35.4	36.2	37.1
	ペットボトル・発泡スチロール	3.9	3.9	3.8	3.7	3.7	3.6
	ダンボール	27.0	29.0	31.0	33.0	35.0	37.0
	計	648.8	665.9	682.7	699.7	716.6	733.5

◆図表 2-15 直接搬入ごみの推計値の推移（知名町）





## 4 和泊町におけるごみ排出量の推計

和泊町における各種ごみ排出量の推計について以下に示します。

### (1) 収集ごみ

#### ア 燃えるごみ

燃えるごみの推計結果を図表 2-16 に示します。

過去 10 年間の実績は、平成 27 年度までは減少傾向となっていました、平成 27 年度を境に増加傾向となり、令和 2 年まで増加したのち、令和 3 年度で減少に転じています。

上述した傾向から、平成 27 年度までの平均増減数は-5 g/人・日（3 年間：平成 24 年度～平成 27 年度）、平成 28 年度～令和 2 年度までの平均増減数は 5 g/人・日となっており、過去 10 年間の平均増減数は 0 g/人・日となります。令和 3 年度は令和 2 年度と比べると 21 g/人・日減少しているものの、単年度の減少であり、一過性の可能性もあると考えられることから、今後も平成 28 年度～令和 2 年度までの増減数（平均増減数：5 g/人・日）に近い増加傾向を示すことが伺えます。

推計結果は、「一次傾向線」及び「一次指数曲線」が緩やかな増加傾向、「二次傾向線」が増加傾向を示し、「ロジスティック曲線」はゆるやかな減少傾向を示しました。（「べき曲線」は測定不可となりました。）

以上のことから、過去の実績を踏まえ、平成 28 年度～令和 2 年度の平均増減数に近い「一次傾向線」及び「一次指数曲線」のうち、年間平均増減数 3.1 g/人・日と、より緩やかな増加傾向を示す「一次傾向線」を採用することとします。

#### イ 燃えないごみ・空き缶・その他

燃えないごみの推計結果を図表 2-17 に示します。

過去 10 年間の実績は、平成 29 年度までは減少傾向となっていました、平成 29 年度を境に増加に転じ、平成 30 年度～令和元年度まで増加した後、令和元年度を境に再び減少に転じています。

上述した傾向から、平成 29 年度までの平均増減数は-1 g/人・日（6 年間：平成 24 年度～平成 29 年度）、平成 30 年度～令和元年度までの平均増減数は 3 g/人・日（2 年間）、令和 2 年度～3 年度までの平均増減数は-1 g/人・日（2 年間）となっており、過去 10 年間の平均増減数は-0.3 g/人・日となります。また、令和元年度～令和 3 年度の過去 3 年間は減少傾向にあり、今後も令和元年度～令和 3 年度までの増減数（平均増減数：-1 g/人・日）に近い増加傾向を示すことが伺えます。

推計結果は、「二次傾向線」は増加傾向を示し、「べき曲線」及び「ロジスティック曲線」は増減がなく（年間平均増減数：0 g/人・日）、「一次傾向線」及び「一次指数曲線」は緩やかな減少傾向を示しました。

以上のことから、過去の実績を踏まえ、過去 10 年間の平均増減数に近い「一次傾向線」及び「一次指数曲線」のうち、相関係数が高い「一次傾向線」を採用することとします。

## ウ 空きビン

空きビンの推計結果を図表 2-18 に示します。

過去 10 年間の実績は、平成 28 年度～令和元年度は増減があるものの経年的に減少傾向となっています。

上述した傾向から、過去 10 年間の平均増減数は-1 g/人・日となります。今後も一時的な変動等は起こるかもしれませんが、これまでの減少傾向に沿った傾向（平均増減数：-1 g/人・日）を示すことが伺えます。

推計結果は、「二次傾向線」は増加傾向を示し、「べき曲線」及び「ロジスティック曲線」は緩やかな増加傾向を示し、「一次傾向線」及び「一次指数曲線」は緩やかな減少傾向を示しました。

以上のことから、過去の実績を踏まえ、過去 10 年間の平均増減数に近い「一次傾向線」及び「一次指数曲線」のうち、相関係数が高い「一次指数曲線」を採用することとします。

## エ ペットボトル・発泡スチロール

ペットボトル・発泡スチロールの推計結果を図表 2-19 に示します。

過去 10 年間の実績は、年度により増減はあるものの、経年的には増加傾向にありましたが、令和 3 年度では減少に転じています。

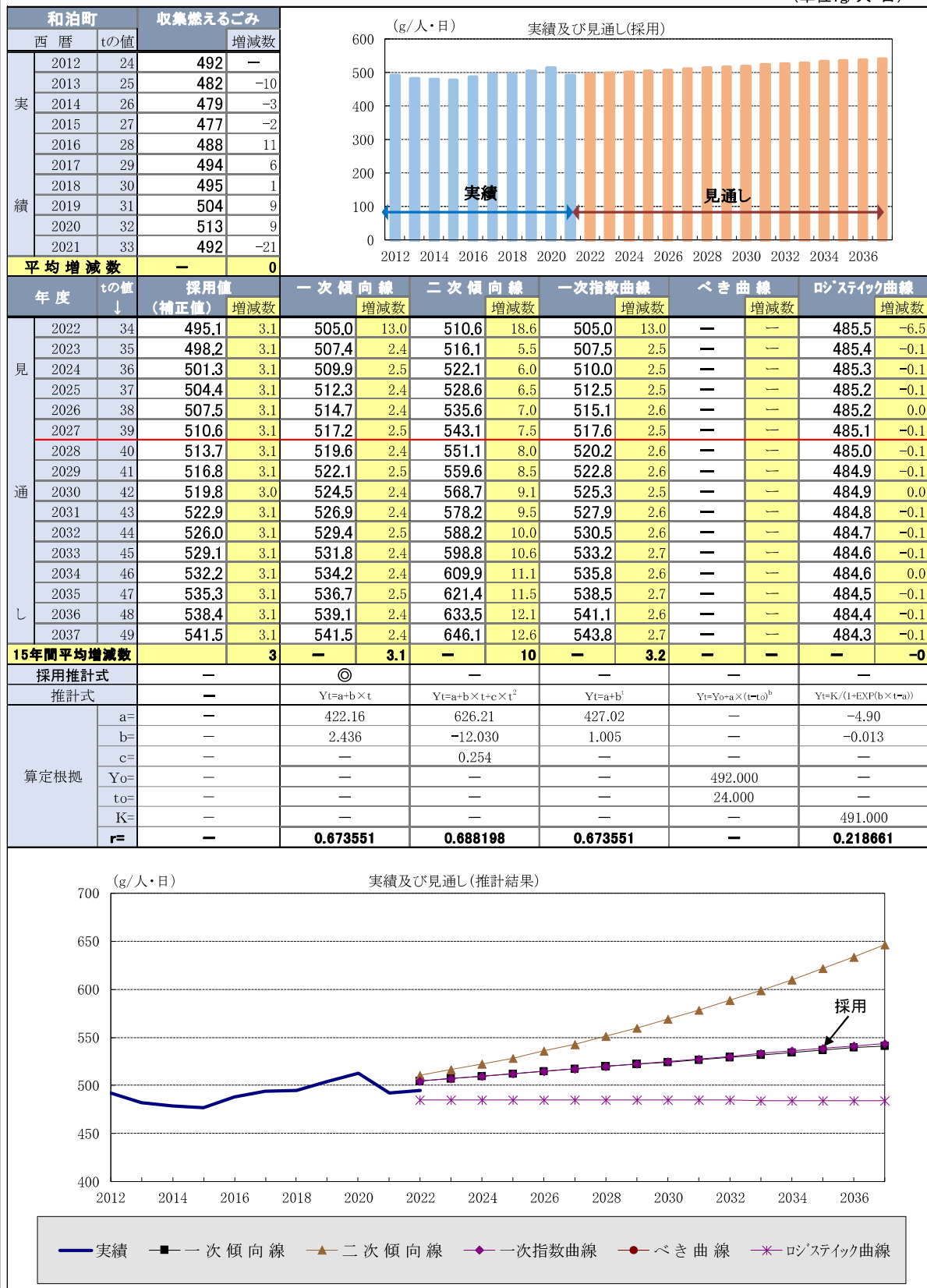
上述した傾向から、令和 2 年度までの平均増減数は+1 g/人・日（9 年間：平成 24 年度～令和 2 年度）となっており、令和 3 年度は減少していますが、一過性の可能性もあると考えられ、今後も過去 9 年間の平均増減数（平均増減数：+1 g/人・日）に近い増加傾向を示すことが伺えます。

推計結果は、「二次傾向線」は緩やかに増加から減少に転じる凸型の放物線状の傾向を示し、「一次指数曲線」は増加傾向を示し、「一次傾向線」、「べき曲線」及び「ロジスティック曲線」が緩やかな増加傾向を示しました。

以上のことから、過去の実績を踏まえ、過去 9 年間の平均増減数に近い「一次傾向線」、「べき曲線」及び「ロジスティック曲線」のうち、相関係数が最も高い「ロジスティック曲線」を採用することとします。

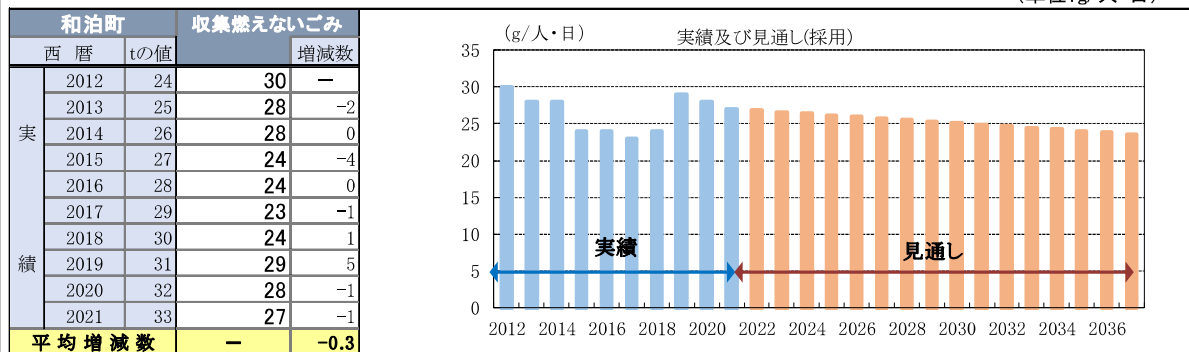
◆図表 2-16 収集燃えるごみの推計結果

(単位:g/人・日)

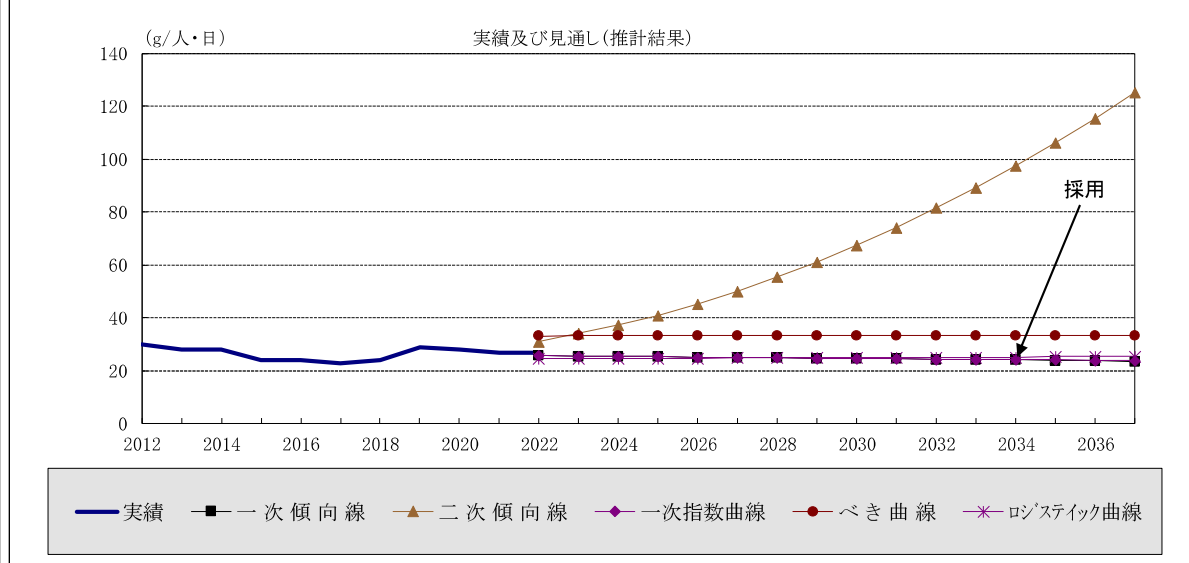


◆図表 2-17 収集燃えないごみ・空き缶・その他の推計結果

(単位:g/人・日)

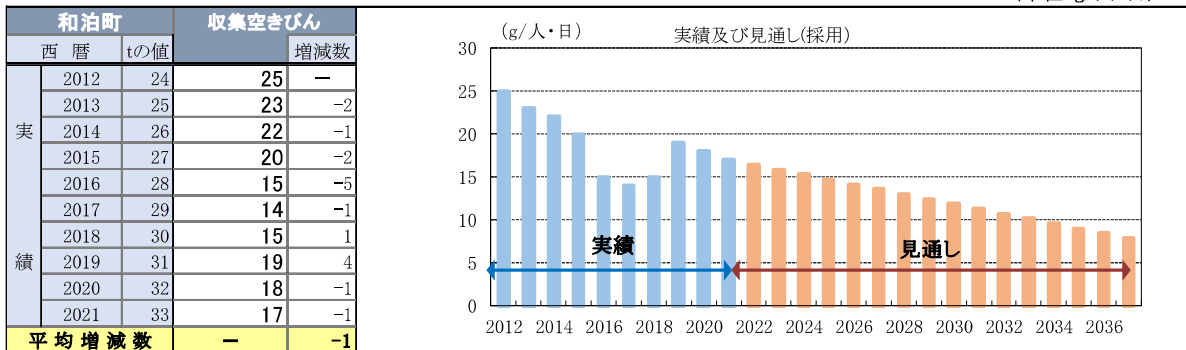


年度	tの値 ↓	採用値 (補正值)		一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		
		採用値	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数			
見通し	2022	34	26.8	-0.2	25.7	-1.3	31.2	4.2	25.7	-1.3	33.3	6.3	24.5	-2.5
	2023	35	26.6	-0.2	25.6	-0.1	34.0	2.8	25.6	-0.1	33.4	0.1	24.6	0.1
	2024	36	26.4	-0.2	25.5	-0.1	37.3	3.3	25.4	-0.2	33.4	0.0	24.7	0.1
	2025	37	26.2	-0.2	25.3	-0.2	41.1	3.8	25.3	-0.1	33.4	0.0	24.7	0.0
	2026	38	25.9	-0.3	25.2	-0.1	45.4	4.3	25.2	-0.1	33.4	0.0	24.8	0.1
	2027	39	25.7	-0.2	25.0	-0.2	50.2	4.8	25.1	-0.1	33.4	0.0	24.9	0.1
	2028	40	25.5	-0.2	24.9	-0.1	55.4	5.2	24.9	-0.2	33.4	0.0	24.9	0.0
	2029	41	25.3	-0.2	24.8	-0.1	61.2	5.8	24.8	-0.1	33.4	0.0	25.0	0.1
通し	2030	42	25.1	-0.2	24.6	-0.2	67.5	6.3	24.7	-0.1	33.4	0.0	25.0	0.0
	2031	43	24.9	-0.2	24.5	-0.1	74.2	6.7	24.6	-0.1	33.5	0.1	25.1	0.1
	2032	44	24.7	-0.2	24.3	-0.2	81.5	7.3	24.4	-0.2	33.5	0.0	25.1	0.0
	2033	45	24.5	-0.2	24.2	-0.1	89.2	7.7	24.3	-0.1	33.5	0.0	25.2	0.1
	2034	46	24.2	-0.3	24.1	-0.1	97.4	8.2	24.2	-0.1	33.5	0.0	25.2	0.0
	2035	47	24.0	-0.2	23.9	-0.2	106.2	8.8	24.1	-0.1	33.5	0.0	25.3	0.1
	2036	48	23.8	-0.2	23.8	-0.1	115.4	9.2	24.0	-0.1	33.5	0.0	25.3	0.0
	2037	49	23.6	-0.2	23.6	-0.2	125.1	9.7	23.8	-0.2	33.5	0.0	25.3	0.0
15年間平均増減数				-0.2	—	-0.2	—	6.1	—	-0.2	—	0.4	—	-0.1
採用推計式			—		◎		—		—		—		—	
推計式			—		$Y_t=a+b \times t$		$Y_t=a+b \times t+c \times t^2$		$Y_t=a+b^t$		$Y_t=Y_0 \times a \times (t-t_0)^b$		$Y_t=K/(1+EXP(b \times (t-a)))$	
算定根拠	a=		—		30.47		228.43		30.38		3.00		-0.90	
	b=		—		-0.139		-14.173		0.995		0.047		0.056	
	c=		—		—		0.246		—		—		—	
	Y <sub>0</sub> =		—		—		—		—		30.000		—	
	t <sub>0</sub> =		—		—		—		—		24.000		—	
	K=		—		—		—		—		—		26.000	
	r=		—			<b>0.282216</b>		<b>0.754411</b>		<b>0.210352</b>		<b>0.490820</b>		<b>0.126211</b>

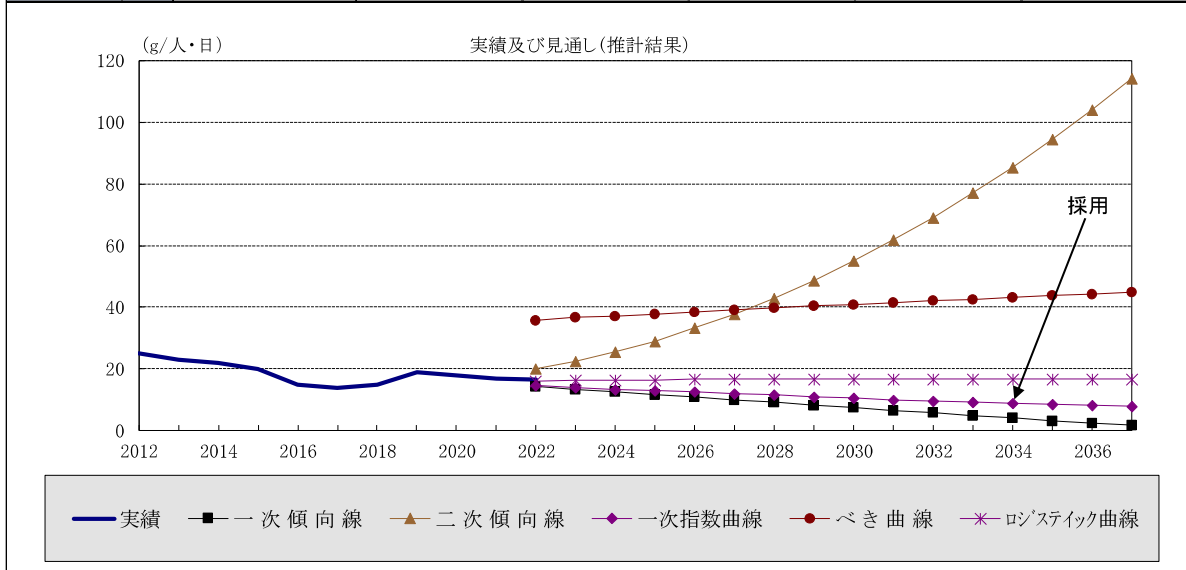


◆図表 2-18 収集空きビンの推計結果

(単位:g/人・日)

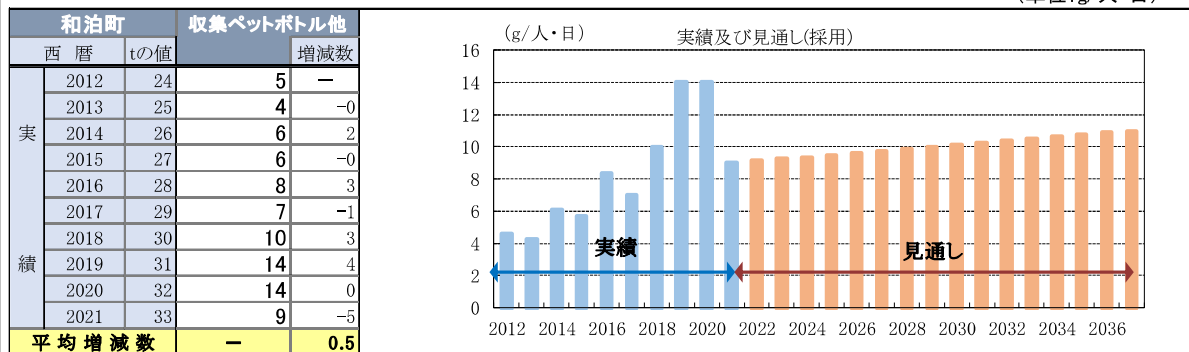


和泊町		収集空きびん												
西暦	tの値	採用値	増減数											
実績	2012	24	25	-										
	2013	25	23	-2										
	2014	26	22	-1										
	2015	27	20	-2										
	2016	28	15	-5										
	2017	29	14	-1										
	2018	30	15	1										
	2019	31	19	4										
	2020	32	18	-1										
	2021	33	17	-1										
平均増減数		-	-1											
年度	tの値	採用値	増減数	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線						
		(補正值)		増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数					
見通し	2022	34	16.4	-0.6	14.2	-2.8	20.2	3.2	14.7	-2.3	35.8	18.8	16.1	-0.9
	2023	35	15.9	-0.5	13.4	-0.8	22.6	2.4	14.1	-0.6	36.6	0.8	16.3	0.2
	2024	36	15.3	-0.6	12.5	-0.9	25.6	3.0	13.5	-0.6	37.2	0.6	16.4	0.1
	2025	37	14.7	-0.6	11.7	-0.8	29.1	3.5	13.0	-0.5	37.9	0.7	16.5	0.1
	2026	38	14.2	-0.5	10.9	-0.8	33.2	4.1	12.5	-0.5	38.5	0.6	16.6	0.1
	2027	39	13.6	-0.6	10.0	-0.9	37.8	4.6	11.9	-0.6	39.2	0.7	16.6	0.0
	2028	40	13.0	-0.6	9.2	-0.8	43.0	5.2	11.5	-0.4	39.8	0.6	16.7	0.1
	2029	41	12.5	-0.5	8.3	-0.9	48.7	5.7	11.0	-0.5	40.4	0.6	16.7	0.0
	2030	42	11.9	-0.6	7.5	-0.8	55.0	6.3	10.5	-0.5	41.0	0.6	16.8	0.1
	2031	43	11.3	-0.6	6.7	-0.8	61.8	6.8	10.1	-0.4	41.6	0.6	16.8	0.0
2032	44	10.7	-0.6	5.8	-0.9	69.1	7.3	9.7	-0.4	42.2	0.6	16.9	0.1	
2033	45	10.2	-0.5	5.0	-0.8	77.0	7.9	9.3	-0.4	42.7	0.5	16.9	0.0	
2034	46	9.6	-0.6	4.2	-0.8	85.4	8.4	8.9	-0.4	43.3	0.6	16.9	0.0	
2035	47	9.0	-0.6	3.3	-0.9	94.4	9.0	8.6	-0.3	43.8	0.5	16.9	0.0	
2036	48	8.5	-0.5	2.5	-0.8	103.9	9.5	8.2	-0.4	44.3	0.5	16.9	0.0	
2037	49	7.9	-0.6	1.7	-0.8	114.0	10.1	7.9	-0.3	44.9	0.6	16.9	0.0	
15年間平均増減数		-	-0.6	-	-1.0	-	6.1	-	-0.6	-	1.7	-	-0.0	
採用推計式		-	-	-	-	◎	-	-	-	-	-	-		
推計式		-	-	$Y_t=a+b \times t$	$Y_t=a+b \times t+c \times t^2$	$Y_t=a+b^t$	$Y_t=Yo \times a \times (t-1)^b$	$Y_t=K/(1+EXP(b \times (t-a)))$						
算定根拠	a=	-	-	42.64	261.91	60.34	2.37	3.21						
	b=	-	-	-0.836	-16.382	0.959	0.661	0.181						
	c=	-	-	-	0.273	-	-	-						
	Yo=	-	-	-	-	-	25.000	-						
	to=	-	-	-	-	-	24.000	-						
	K=	-	-	-	-	-	-	17.000						
	r=	-	-	0.643686	0.877484	0.695023	0.703676	0.839128						

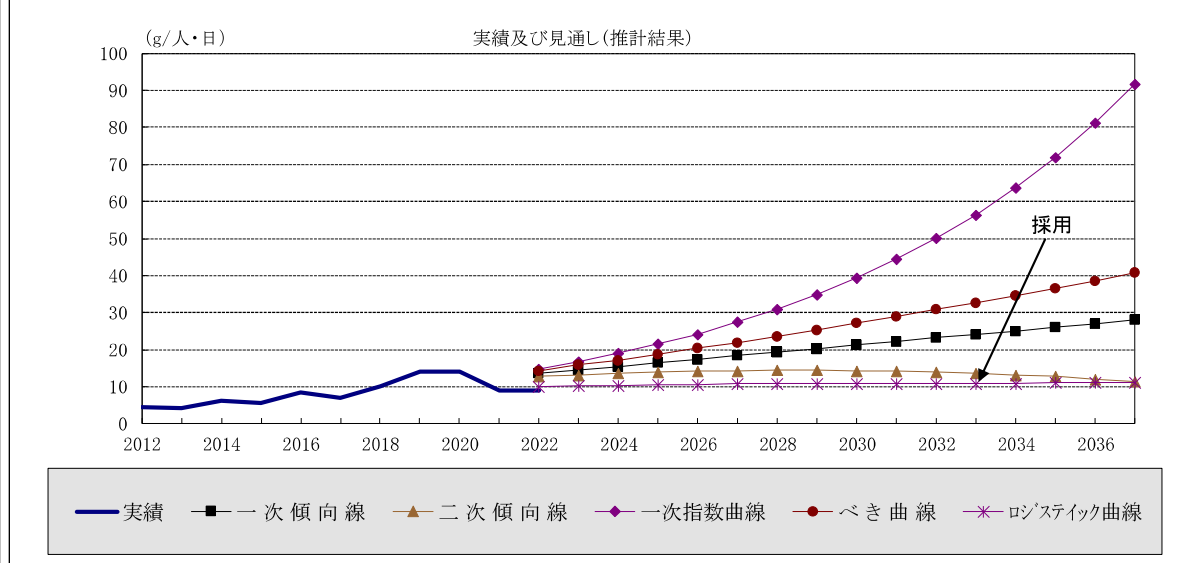


◆図表 2-19 収集ペットボトル・発泡スチロールの推計結果

(単位:g/人・日)



年度	tの値 ↓	採用値 (補正值)		一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		
		採用値	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数			
2022	34	9.1	0.1	13.6	4.6	12.7	3.7	14.9	5.9	14.3	5.3	10.0	1.0	
2023	35	9.3	0.2	14.6	1.0	13.2	0.5	16.9	2.0	15.8	1.5	10.2	0.2	
2024	36	9.4	0.1	15.5	0.9	13.6	0.4	19.0	2.1	17.2	1.4	10.4	0.2	
2025	37	9.5	0.1	16.5	1.0	13.9	0.3	21.5	2.5	18.8	1.6	10.5	0.1	
2026	38	9.6	0.1	17.4	0.9	14.1	0.2	24.2	2.7	20.4	1.6	10.6	0.1	
2027	39	9.8	0.2	18.4	1.0	14.3	0.2	27.4	3.2	22.0	1.6	10.7	0.1	
2028	40	9.9	0.1	19.4	1.0	14.4	0.1	30.9	3.5	23.7	1.7	10.8	0.1	
2029	41	10.0	0.1	20.3	0.9	14.4	0.0	34.8	3.9	25.4	1.7	10.8	0.0	
2030	42	10.1	0.1	21.3	1.0	14.3	-0.1	39.3	4.5	27.2	1.8	10.9	0.1	
2031	43	10.3	0.2	22.2	0.9	14.1	-0.2	44.4	5.1	29.0	1.8	10.9	0.0	
2032	44	10.4	0.1	23.2	1.0	13.9	-0.2	50.1	5.7	30.8	1.8	10.9	0.0	
2033	45	10.5	0.1	24.2	1.0	13.6	-0.3	56.5	6.4	32.7	1.9	10.9	0.0	
2034	46	10.6	0.1	25.1	0.9	13.2	-0.4	63.8	7.3	34.7	2.0	10.9	0.0	
2035	47	10.8	0.2	26.1	1.0	12.7	-0.5	72.0	8.2	36.6	1.9	11.0	0.1	
2036	48	10.9	0.1	27.0	0.9	12.1	-0.6	81.3	9.3	38.6	2.0	11.0	0.0	
2037	49	11.0	0.1	28.0	1.0	11.5	-0.6	91.7	10.4	40.7	2.1	11.0	0.0	
<b>15年間平均増減数</b>		<b>-</b>	<b>0.1</b>	<b>-</b>	<b>1.2</b>	<b>-</b>	<b>0.2</b>	<b>-</b>	<b>5.2</b>	<b>-</b>	<b>2.0</b>	<b>-</b>	<b>0.1</b>	
採用推計式		-		-		-		-		-		◎		
推計式		-		$Y_t=a+b \times t$		$Y_t=a+b \times t+c \times t^2$		$Y_t=a+b^t$		$Y_t=Yo+a \times (t-to)^b$		$Y_t=K/(1+EXP(b \times (t-a)))$		
算定根拠		a=	-	-19.07	-	-51.35	-	0.24	-	0.36	-	6.63	-	
		b=	-	0.961	-	3.249	-	1.129	-	1.430	-	0.261	-	
		c=	-	-	-	-0.040	-	-	-	-	-	-	-	-
		Yo=	-	-	-	-	-	-	-	-	4.600	-	-	-
		to=	-	-	-	-	-	-	-	-	24.000	-	-	-
		K=	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11.000	-
		r=	-	<b>0.826855</b>	-	<b>0.791222</b>	-	<b>0.776933</b>	-	<b>0.829941</b>	-	<b>0.835547</b>	-	-



## (2) 直接搬入ごみ

### ア 燃えるごみ

推計結果を図表 2-20 に示します。

過去 10 年間の実績は、年度により増減はあるものの、経年的には増加傾向にあり、このような傾向から、過去 10 年間の平均増減数は+13t/年となります。

推計結果は、全ての推計式において増加傾向を示しており、その中でもは平均増減数が同値であり、相関係数も高い「一次指数曲線」を採用することとします。

### イ 燃えないごみ・空き缶・その他

推計結果を図表 2-21 に示します。

過去 10 年間の実績は、年度により増減はあるものの、経年的には増加傾向にあり、このような傾向から、過去 10 年間の平均増減数は+5t/年となります。

推計結果は、「二次傾向線」及び「一次指数曲線」は増加傾向を示し、「一次傾向線」、「べき曲線」及び「ロジスティック曲線」は緩やかな増加傾向を示しました。

以上のことから、過去の実績を踏まえ、過去 10 年間の平均増減数に近く、相関係数も高い「べき曲線」を採用することとします。

### ウ 粗大ごみ

推計結果を図表 2-22 に示します。

過去 10 年間の実績は、平成 29 年度までは減少傾向となっていました、平成 30 年度に大きく増加し、再び、平成 30 年度を境に減少傾向となっています。

上述した傾向から、平成 29 年度までの平均増減数は-3t/年（6 年間：平成 24 年度～平成 29 年度）、令和元年度～令和 3 年度までの平均増減数は-4t/年となっており、過去 10 年間の平均増減数は-0.3t/年となります。

推計結果は、「二次傾向線」が増加傾向を示し、「一次傾向線」、「一次指数曲線」及び「ロジスティック曲線」はほぼ横ばいの傾向を示しました。（「べき曲線」は測定不可となりました。）

以上のことから、過去の実績を踏まえ、過去 10 年間の平均増減数に近く、相関係数の高い「一次傾向線」を採用することとします。

### エ ペットボトル・発泡スチロール

推計結果を図表 2-23 に示します。

過去 10 年間の実績は、平成 29 年度までは年度により増減はあるもののほぼ横ばいで推移し、平成 30 年度以降は年度により増減をしながらも経年的には増加傾向となっています。

上述した傾向から、平成 29 年度までの平均増減数は 0t/年（6 年間：平成 24 年度～平成 29 年度）、平成 30 年度～令和 3 年度までの平均増減数は 1t/年となっており、過去 10 年間の平均増減数は 0t/年となります。

推計結果は、「一次指数曲線」が増加傾向を示し、「一次傾向線」及び「二次傾向線」が緩やかな増加傾向を示し、「ロジスティック曲線」は横ばい傾向を示しました。（「べき曲線」は測定不可となりました。）

以上のことから、過去の実績を踏まえ、過去 10 年間の平均増減数に近く、相関係数の

高い「ロジスティック曲線」を採用することとします。

#### オ ダンボール

推計結果を図表 2-24 に示します。

過去 10 年間の実績は、平成 28 年度までは減少傾向、平成 28 年度を境に増加傾向となっていたが、令和 3 年度は減少に転じています。

上述した傾向から、平成 28 年度までの平均増減数は $-4t/\text{年}$ （5 年間：平成 24 年度～平成 28 年度）、平成 29 年度～令和 2 年度までの平均増減数は $+7t/\text{年}$ 、令和 2 年度～令和 3 年度の増減数は $-1.0t/\text{年}$ 、となっており、過去 10 年間の平均増減数は  $1.2t/\text{年}$  となります。

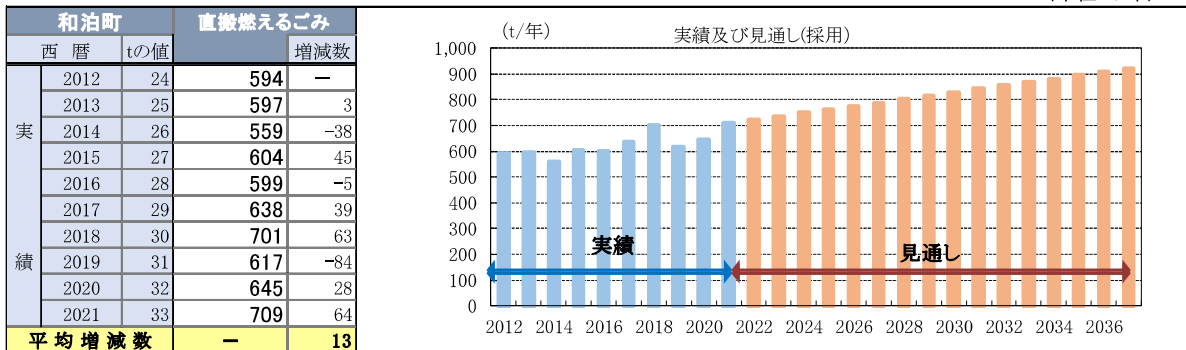
推計結果は、「二次傾向線」が増加傾向を示し、「一次傾向線」、「一次指数曲線」及び「ロジスティック曲線」はゆるやかな減少傾向を示しました。（「べき曲線」は測定不可となりました。）

以上のことから、過去の実績を踏まえ、平均増減数に近く、相関係数の高い「ロジスティック曲線」を採用することとします。

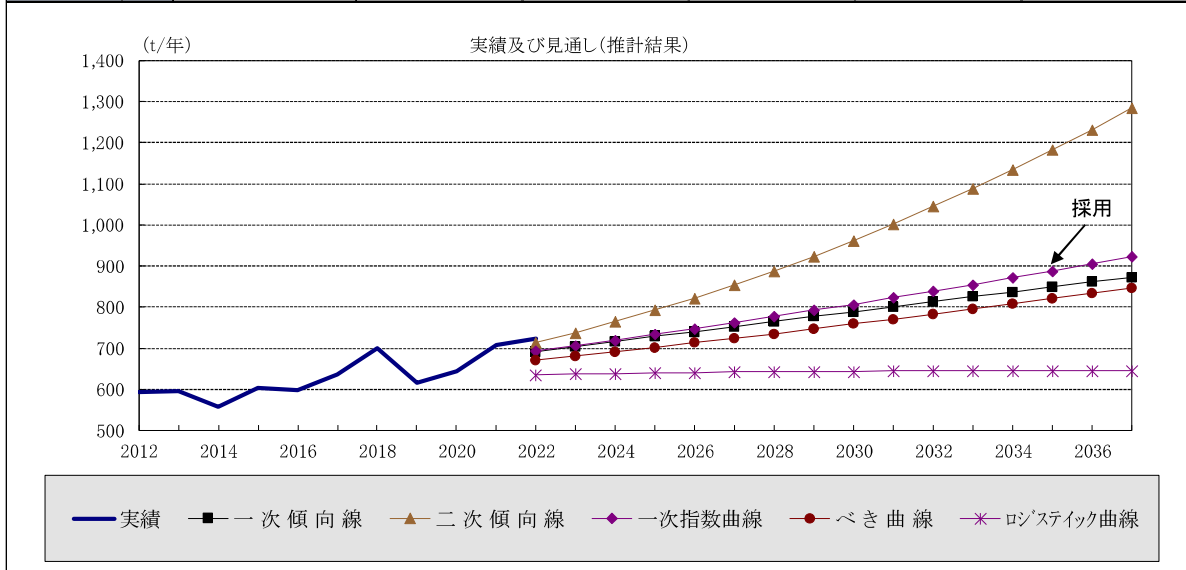


◆図表 2-20 直接搬入燃えるごみの推計結果

(単位:t/年)

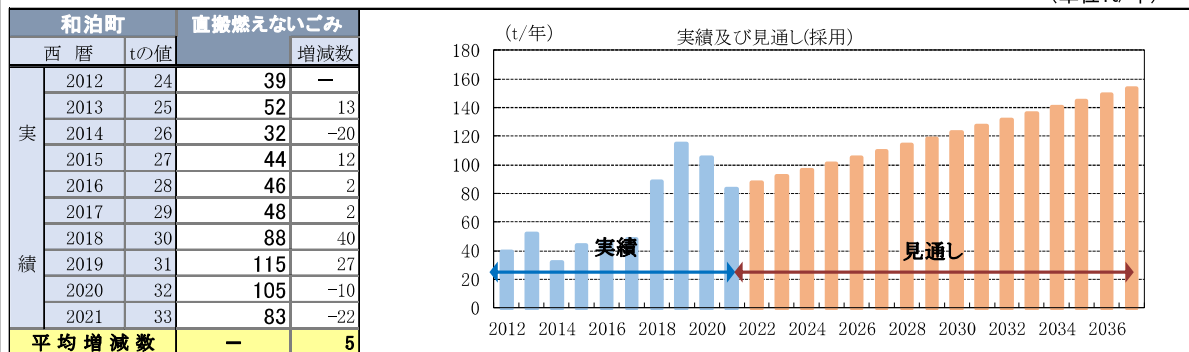


年度	tの値 ↓	採用値 (補正值)		一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		
		採用値	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数			
見	2022	34	722.3	13.3	692.7	-16.3	714.6	5.6	693.6	-15.4	671.3	-37.7	635.6	-73.4
	2023	35	735.7	13.4	704.7	12.0	738.6	24.0	706.9	13.3	681.4	10.1	637.5	1.9
	2024	36	749.0	13.3	716.8	12.1	764.6	26.0	720.5	13.6	691.9	10.5	639.1	1.6
	2025	37	762.4	13.4	728.9	12.1	792.6	28.0	734.3	13.8	702.6	10.7	640.4	1.3
	2026	38	775.7	13.3	740.9	12.0	822.6	30.0	748.4	14.1	713.6	11.0	641.5	1.1
	2027	39	789.1	13.4	753.0	12.1	854.6	32.0	762.7	14.3	724.8	11.2	642.4	0.9
	2028	40	802.4	13.3	765.1	12.1	888.6	34.0	777.4	14.7	736.2	11.4	643.2	0.8
	2029	41	815.8	13.4	777.1	12.0	924.6	36.0	792.3	14.9	747.9	11.7	643.8	0.6
	2030	42	829.1	13.3	789.2	12.1	962.5	37.9	807.5	15.2	759.7	11.8	644.4	0.6
	2031	43	842.4	13.3	801.3	12.1	1,002.5	40.0	823.0	15.5	771.8	12.1	644.8	0.4
通	2032	44	855.8	13.4	813.3	12.0	1,044.5	42.0	838.8	15.8	784.1	12.3	645.2	0.4
	2033	45	869.1	13.3	825.4	12.1	1,088.4	43.9	854.9	16.1	796.5	12.4	645.5	0.3
	2034	46	882.5	13.4	837.5	12.1	1,134.3	45.9	871.3	16.4	809.1	12.6	645.7	0.2
	2035	47	895.8	13.3	849.5	12.0	1,182.3	48.0	888.1	16.8	821.9	12.8	646.0	0.3
	2036	48	909.2	13.4	861.6	12.1	1,232.2	49.9	905.1	17.0	834.8	12.9	646.1	0.1
	2037	49	922.5	13.3	873.7	12.1	1,284.1	51.9	922.5	17.4	847.9	13.1	646.3	0.2
15年間平均増減数				13.3	—	10.3	—	35.9	—	13.3	—	8.7	—	-3.9
採用推計式			—		—		—	◎		—		—		—
推計式			—		$Yt=a+b \times t$		$Yt=a+b \times t+c \times t^2$		$Yt=a+b^t$		$Yt=Yo+a \times (t-to)^b$		$Yt=K/(1+EXP(b \times (t-a)))$	
算定根拠	a=	—			282.40		1,083.35		363.33		3.88		2.29	
	b=	—			12.067		-44.717		1.019		1.299		0.186	
	c=	—			—		0.996		—		—		—	
	Yo=	—			—		—		—		594.000		—	
	to=	—			—		—		—		24.000		—	
	K=	—			—		—		—		—		647.000	
	r=	—				0.762404		0.778213		0.765004		0.777801		0.713378



◆図表 2-21 直接搬入燃えないごみ・空き缶・その他の推計結果

(単位:t/年)



年度	tの値 ↓	採用値 (補正值)		一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		
		値	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数			
見通し	2022	34	87.4	4.4	109.1	26.1	119.7	36.7	116.8	33.8	84.6	1.6	87.0	4.0
	2023	35	91.8	4.4	117.0	7.9	133.4	13.7	132.0	15.2	89.2	4.6	88.6	1.6
	2024	36	96.1	4.3	125.0	8.0	148.1	14.7	149.3	17.3	93.8	4.6	89.8	1.2
	2025	37	100.5	4.4	133.0	8.0	163.8	15.7	168.7	19.4	98.3	4.5	90.7	0.9
	2026	38	104.9	4.4	141.0	8.0	180.4	16.6	190.8	22.1	102.9	4.6	91.4	0.7
	2027	39	109.3	4.4	148.9	7.9	198.0	17.6	215.6	24.8	107.5	4.6	91.8	0.4
	2028	40	113.7	4.4	156.9	8.0	216.6	18.6	243.8	28.2	112.0	4.5	92.2	0.4
	2029	41	118.1	4.4	164.9	8.0	236.1	19.5	275.6	31.8	116.6	4.6	92.4	0.2
	2030	42	122.4	4.3	172.9	8.0	256.6	20.5	311.5	35.9	121.2	4.6	92.6	0.2
	2031	43	126.8	4.4	180.8	7.9	278.0	21.4	352.2	40.7	125.7	4.5	92.7	0.1
	2032	44	131.2	4.4	188.8	8.0	300.4	22.4	398.1	45.9	130.3	4.6	92.8	0.1
	2033	45	135.6	4.4	196.8	8.0	323.8	23.4	450.1	52.0	134.9	4.6	92.8	0.0
	2034	46	140.0	4.4	204.8	8.0	348.1	24.3	508.8	58.7	139.4	4.5	92.9	0.1
	2035	47	144.3	4.3	212.8	8.0	373.4	25.3	575.2	66.4	144.0	4.6	92.9	0.0
	2036	48	148.7	4.4	220.7	7.9	399.7	26.3	650.2	75.0	148.6	4.6	92.9	0.0
2037	49	153.1	4.4	228.7	8.0	426.9	27.2	735.1	84.9	153.1	4.5	93.0	0.1	
15年間平均増減数			4.4	-	9.1	-	21.5	-	40.8	-	4.4	-	0.6	
採用推計式			-		-		-		-	◎			-	
推計式			-		$Y_t=a+b \times t$		$Y_t=a+b \times t+c \times t^2$		$Y_t=a+b^t$		$Y_t=Y_0+a \times (t-t_0)^b$		$Y_t=K/(1+EXP(b \times (t-a)))$	
算定根拠	a=	-	-	-162.11		224.66		1.81		4.56		8.87		
	b=	-	-	7.976		-19.445		1.130		1.001		0.339		
	c=	-	-	-		0.481		-		-		-		
	Y0=	-	-	-		-		-		39.000		-		
	t0=	-	-	-		-		-		24.000		-		
	K=	-	-	-		-		-		-		93.000		
	r=	-	-	-	0.811078		0.824097		0.812397		0.806488		0.798899	

